

宮園 博香 議員



## 7年間の自分自身の評価は

### 課題は山積している

ので自分ではできません。

**Q** 人事は町長の持つている最高の特権ですが、その権限がうまく使われていないことから職員が一枚岩になっていない。そこで、職員の定期人事異動に対する町長の基本的な考え方は

**Q** 佐藤町長の7年間の自分自身の評価と2期目の総仕上げの具体的な考え方について、また自身自身に点数をつけるとしたら何点か

**A** 1期目は、合併前の旧二町が培ってきた長い歴史と伝統を受け継ぎ、地域の特性を活かした新しい横芝光町を創造するため「未来を創る住民の視点で」を信条に取り組み、2期目は各種事業を行いました。が、まだまだ課題は山積しています。2期目の総仕上げにつきましては、わが町創生のため「横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し進めていきます。なお、自分自身の評価については第三者が評価するも

**Q** 用地取得は面積ベースで97%あり、今年から暫定供用も視野に入れた本格的な整備工事を行う予定です。横芝下総線バイパスについても、千葉県と協力しながら早期完成に努めます。

**Q** 東陽病院の病床利用率の向上等による医療収入の増大を図るための横芝光町版地域包括ケアシステムの構築と東陽病院の連携

**A** 毎年度「人事異動に関する方針」を策定し、それに基づいて職員の適性や職員自身の希望などを考慮して行っていますが、今後も検討を重ねていきます。

**Q** 主要道路及び横芝下総線バイパスの完成時期

**A** 粟嶋橋取り付け道路は、ルート及び道路幅員等が決まったところであり早期完成を目指します。清長大橋取り付け道路は、平成27年5月末現在の進捗率は事業費ベースで70%、

用地取得は面積ベースで97%あり、今年から暫定供用も視野に入れた本格的な整備工事を行う予定です。横芝下総線バイパスについても、千葉県と協力しながら早期完成に努めます。

**Q** 東陽病院の病床利用率の向上等による医療収入の増大を図るための横芝光町版地域包括ケアシステムの構築と東陽病院の連携

**A** 疾病を抱えても在宅生活を持続できるようにするために、医療と介護の連携体制の構築が重要ですので今後当町の在宅医療体制と地域包括ケアシステムの構築について、東陽病院を含め関係機関と積極的に検討及び協議をしていきます。

**Q** 粟嶋橋取り付け道路は、ルート及び道路幅員等が決まったところであり早期完成を目指します。清長大橋取り付け道路は、平成27年5月末現在の進捗率は事業費ベースで70%、

用地取得は面積ベースで97%あり、今年から暫定供用も視野に入れた本格的な整備工事を行う予定です。横芝下総線バイパスについても、千葉県と協力しながら早期完成に努めます。

森川 忠 議員



## ICT化の推進計画は 住民サービス向上・事務処理の効率化のため進めていく

**Q** ICT化の推進計画は

**A** 情報通信技術については日進月歩でもあり、中長期的計画は難しいが、住民サービスの向上と事務処理の効率化を図るためその推進に努めている。今年度は町基幹システムの一つである住民情報システムとの関連サーバーを、建物内に置く自庁舎設置方式から、

セキュリティ、防災、運用面に優れた民間のデータサービスセンターにあるサーバーを活用し、関連システムを利用する「クラウド方式」に改める予定である。今後も引き続き行政の情報共有化の推進に努める。

された方に30組の少数だが町内産「コシヒカリ」1俵を差し上げた。今後とも故郷や応援したい自治体に寄附するというふるさと納税の本来の趣旨に沿いながら、寄附してよかったと満足していただける様な謝礼品を工夫していく。

**Q** 定住促進策での人口増と他自治体の施策の認識と今後のあり方は

**A** 自治体により財政状況、人口、産業構造、社会インフラ、地理的条件、自然環境など様々な点で異なる地域ごとの特性と課題があるので優良事例を参考にすることもありますが、今後は当町に合った施策を計画し着実に実施していくことが大切である。

**Q** ふるさと納税の謝礼品に関する意見は

**A** 現在は1万円以上の寄附をされた方に、野菜の詰め合わせを差し上げている。昨年度は当町新米を町外へPRする目的で試行的に3万円以上の寄附を

**Q** 当町の地方創生推進の具体的な計画は

**A** 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金は「地方創生先行型」と「地域消費喚起・生活支援型」に分かれる。当町では商工会の協力のもと1万円〜3千円のプレミアムが付く商品券発行事業を今年度実施するほか、若い世代をターゲットにしたスマートフォンアプリで町独自の情報発信をする予定だ。今後は急速な少子高齢化の進展に対応し住み良い環境を確保し、将来にわたり活力ある横芝光町を維持できる総合戦略を策定し実施していく。

※他にWifiフリー化・公園の管理計画

鈴木 和彦 議員

### 施設の交流直産 建設予定地の 第1候補は

#### ふれあい坂田池公園 北端部



**Q** 産直交流施設の今後の事業スケジュールは

**A** 産直交流施設につきましては、昨年度検討委員会により協議を重ね、意見ご提言を頂き、本年3月末に産直交流施設基本調査が終了し基本調査業務報告書が完成しました。この報告書は、町内全体を見据え6か所の候補地の中から、集客性、交通利便性、安全性、周辺環境との調和性、既存施設との競合性、自然災害に対する安全性、事業化の円滑性、建設経済性の7項目

について評価を行い総合的にふれあい坂田池公園の北端部付近が最もふさわしい場所であると評価されました。基本調査での事業スケジュールは、基本計画及び設計、関係機関協議、用地取得と関連工事、管理・運営に係る組織や出品・出荷者の組織の体制の確立等を勘案した標準的な案として、平成31年度完成予定としております。

**Q** 水田活用の直接支払い交付金は(平成27年産戦略作物(飼料用米、麦、大豆)の昨年度と今年度の作付状況の比較について)

**A** 経営所得安定対策等交付金交付申請書の受付状況は、5月末(5月31日時点)において、飼料用米の申請面積が55・3haの増で59・0ha、麦・大豆の申請面積が、13・0haの増で65・2haとなっております。なお、平成27年度の受付は6月末までとなっておりますので、今後、更に飼料用米の申し込みが増加するものと考えております。

**Q** 米需給調整対策事業交付金の枠組は

**A** 国は、飼料用米など戦略作物への取り組みを推進していることから、千葉県でも県農林水産部生産振興課が全農千葉、農林中央金庫千葉支店とともに飼料用米推進キャラバンを実施し、県内各市町と飼料用米推進のための打ち合わせを行っております。町としても、大変厳しい財政状況の中、平成26年度と同額の24、174千円を予算化し、米需給調整対策事業を実施してまいりたいと考えております。

**Q** 米需給調整対策交付金は、平成26年度と同額の24、174千円を予算化したようですが、今年度は飼料用米の作付増加が見込まれますので10アールあたりの交付金が薄まらないうつ検討をお願いします。

**A** 国は、飼料用米など戦略作物への取り組みを推進していることから、千葉県でも県農林水産部生産振興課が全農千葉、農林中央金庫千葉支店とともに飼料用米推進キャラバンを実施し、県内各市町と飼料用米推進のための打ち合わせを行っております。町としても、大変厳しい財政状況の中、平成26年度と同額の24、174千円を予算化し、米需給調整対策事業を実施してまいりたいと考えております。

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

### 保育所・幼稚園への今後の町の基本的な考えは

#### 施設間の連携を密に 一体的な受入体制を



齋藤 順一 議員

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

等の格差を感じるところです。各所各園の経営方針及び自主性を尊重し、選択の自由は保護者にありと決めつければ問題は簡単ですが、町全体としてのバランスある公平な教育・保育環境は、重要であると考えます。

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

して、町全体の一体的な受け入れ体制を整え、子育て世代の皆さまを支援したいと考えております。

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

**Q** 本町における子ども子育て支援について、高校3年生までの医療費無料化、各種子育て支援事業など、その実績を評価するものですが、一方で町立保育所と私立保育所、幼稚園

山崎 義貞 議員

## 「戦争法案ノー」の先頭に

### 国会の審議見守る



TPPへの参加が決定されれば、当町における影響は大変深刻なものとなること予想されるので、今後の国の対応方針を注視しながら当町に合致する振興策を検討したい。

**Q** 戦争の放棄を規定している憲法9条破壊のある方々が声を大にして反対を訴えています。町長はどのように考えているのか

**A** 社会的に関心が高い重要な法案でありますので、国権の最高機関である国会において適切に議論がなされるものと考えます。

**A** 農業を基幹産業とする当町にとって、到底受け入れられるものではないと考えており、TPP反対を明確に表明しています。

**Q** 地域経済を壊すTPP交渉と、町経済の影響は

**Q** 国保税の引き下げと資格証明書発行について

**A** 当町の国保税率については、山武郡内の市町の中では最も低い水準となっており、大変厳しい国保税政ではありますが、できる限り現在の税率を据え置き、被保険者の皆さんの負担増にならないように努めます。資格証明書交付世帯は、5月1日現在において164世帯です。資格証明書の交付については、滞納者個々の状況を把握し納付相談通知にも一向に応じない方や、取り決めた納付方法を履行しない方などに對し、弁明の機会を設けたうえで交付しています。

**Q** 東陽病院診療科目の増設を

**A** 産科、小児科については医師の確保は非常に難しい状況です。また心療内科は、専門の医師数もまだ少ないものと思われすが、医師確保については地域の必要性も踏まえ、今後さらに要望活動を続けていきたいと考えております。

**Q** 介護保険制度の充実と保険料の負担の軽減を

**A** 地域包括ケアシステムにより、介護保険サービスの充実、介護予防事業等の一層の推進はもろろんのこと、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりをしていきたい。町独自の保険料の軽減、利用料の軽減は考えておりません。

秋鹿 幹夫 議員

## 住み良い街にして行く為には

### 安全な道路環境と 便利な公共交通



**Q** 安心安全な道路環境整備の対策は

**A** 「道路改良・舗装・排水整備」について、工事要望を頂いた場合は、必ず、現地を確認しています。現在、町道全体の現状と要望箇所と整備した箇所と比較検討し、工事の有無を総合的に判断しています。既存の道路の補修や、道路標識の補修等、普段の保守点検は、老朽化等による補修は計画的に実行し、点検については職員による道路パトロールを実施し、簡易的補修は職員が対応、それ以外は業者に発注し順次対応しています。その他町民の皆様や通行者からの連絡でも同様な対応をしています。

防犯灯の設置に関しては、基本は行政総務員を通じて要望を頂き、現地確認の上設置しています。防犯対策上必要な場合は、出来るだけ速やかに設置しています。

**A** 循環バスは合併当初、計4台で運行しており、運行経費から運賃収入を差し引いた金額を町が補助するという方法で運行しています。多額の経費をかけて1台当たりの平均利用者数は5人弱であり、効率性、速達性、定時制の問題や、高齢者がバス停まで行くのが困難など、たくさん

JRの踏切、サビアとドラッグストアの間を通る「町道II・10号線」の踏切部分は、県決定の都市計画道路の中で跨線橋により計画されている事や、県が事業を進めている主要地方道横芝下総線バイパスと接続する事から、今後県と協議して行きます。

の問題がありました。そこで従来の循環バスが抱えていた幾つもの課題に対処するために、更新時期の迫ったバス2台を減らしデマンド乗り合いタクシーを新たに導入して、循環バスとの組み合わせにより運行を見直しました。今後のバス運行の方向性については、より良い物にしていくため色々なご意見を参考にし、公共交通会議を通じて検討して参りたいと思います。タクシー利用登録について、役場まで来る事が出来ないなどの事情のある方々のために、最大限便宜を図る様今後対応して行きます。

**Q** 循環バスと乗合タクシーの利用向上の取組は

川島富士子 議員



## 空き家バンクの創設と 空き家対策条例の制定を

検討してまいりたい

**Q** 空き家バンクの創設と  
空き家対策条例の制定を

**A** 地域活性化や移住・定住促進を図るため、空き家の活用は有効な手段の一つであり、わが町の創生総合戦略を策定する中で、検討してまいりたいと思います。また、条例の制定に

ついても平成27年度は、空き家等状況及び空き家対策に関する情報を収集し、「空き家等対策計画の作成」の進め方などを踏まえながら検討してまいります。

**Q** 仮称「婚活in横芝光」の取り組みは

**A** 若者が安心して結婚・妊娠・出産・育児をしやすいまちづくりをすることが、当町の創生を成し遂げるうえで大変重要であり、これから策定する横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略の大きな柱となるものです。今後、総合戦略の策定に向け役場内組織として立ち上げた5つのワーキングチームのうち、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえることをテーマとする出会い・結婚・出産チームでの検討と、町民アンケートの結果を踏まえて計画を策定してまいります。

**Q** クールアースデーの取り組みは

**A** 「クールアースデー」は、二〇〇八年の洞爺湖サミットが七月七日に開催されたことを契機に、毎年この日を「クールアースデー」と定め、ライトダウンした中で天の川を見ながら地球環境の大切さを考える日としております。当町におきましても身近でできる取組として、家庭で必要以外の電気を消し星空をながめて、地球環境の大切さを再確認して頂けるよう広報紙や町ホームページを活用して周知してまいります。

※その他の質問

- ・創生会議の町民代表について
- ・駅前ロータリーの停車場について
- ・地域包括支援センターの運営について
- ・アレルギー食の実情とあり方について
- ・聴覚障害児に関する助成金について
- ・子どもの学力向上と貧困対策について
- ・交通安全対策の進捗状況について

## 住民に読まれ 議会活動が伝わる

—議会報の基本と編集技術—

7月6日に千葉県自治会館で市町村議会広報研究会が開催され、当町からは8名が参加しました。講師には、議会広報サポーター芳野政明氏を迎え「住民に読まれ議会活動が伝わる—議会報の基本と編集技術—」をテーマとした講義が行われました。

第1部では、住民と議会のつながりを実感するために、広報の役割とあり方についての具体的なお話がありました。地方分権は自治体の住民自治が基本であることから、住民との関係性を築くことが最も大切です。そのためには、住民と自治体（議会・行政）間の情報相互伝達の一翼を担う議会広報の役割は大変重要です。住民に、議会の姿をありのまま分かるように整理して伝え、双方向

の良好な関係を深めることが必要不可欠です。そこに、「開かれた議会」という住民との関係づくりがあり、「究極の議会改革」といわれる所以があるようです。

第2部の広報クリニックでは、3市1町の議会広報の評価があり、それぞれの長所・短所の指摘がありました。これらを参考に当町の議会だよりをクリニックすると、まだまだ課題は山積みであることが感じられます。

今後は、いろいろな角度から情報をお伝えし、インパクトのある議会だよりを目指します。

広報副委員長 川島 仁



議会広報レポーター  
芳野政明氏

